

# 同 志 社 大 学

## 2015 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016 年 3 月 17 日提出

所 属	職 名	氏 名
スポーツ健康科学部	助教	庄子博人
研 究 題 目	地理情報システム(GIS)を用いたジョギング・ランニング普及に関する研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究は、2015 年度は、2013 年度にデータを取得した北海道マラソンの参加者調査の解析を中心に研究をすすめた。本研究の目的は、地理情報システムを用いて、ジョギング・ランニング実施に影響を与える地理的要因を検討し、ジョギング・ランニング実施率向上に貢献することであった。北海道マラソンにて、北海道陸上競技連盟の協力のもと、参加者を対象としたアンケート調査を実施した。調査項目は、人口統計学的属性・郵便番号・満足度・ジョギング実施頻度等であった。</p> <p>G I S を用いて、参加者の地理的分布の把握と環境要因の把握を実施した。2015 年度は、また新たな調査フィールドにて、都市型マラソン参加者への調査をし、分析に活かす予定であった。しかし、本年度は、追加データの取得を目指したが、手続きや調査フィールドの確保等の問題で、ほとんど新たな進展は得られていない。</p> <p>2016 年度には、本研究の完結年であるため、論文執筆および投稿を目指して活動する予定である。具体的には、北海道マラソン関係者や奈良マラソン関係者、東京マラソン関係者との調査の依頼および調整を行っている段階である。</p>	